

白山手取川ジオパークを未来へ！



～価値発信と持続可能性～

白山手取川ジオパーク
Hakusan Todorigawa Geopark



石川県立鶴来高等学校 2年 秋田ひなた 板谷莉里 小西菜穂 田島汰一 本谷羽菜

1. 問題意識と目的

本校が位置する白山手取川ジオパークは「世界ジオパーク」への推薦が決定し、盛り上がりを見せている。白山手取川ジオパークの美しい景観や文化を未来に残していくためには、**私たち若者世代が白山手取川ジオパークのもつ価値保全への問題意識を高めることが必須である。**しかし高校生の間に、それらの意識が十分に広がっているとは言えない現状もある。本発表では、白山手取川ジオパークのもつ魅力と持続可能性に関する課題を考察していきたい。



白山手取川ジオパーク中流域の景観を持続可能なものにするためには？

2. 手取川中流域の景観と課題 — 保全と価値発信の両輪が必須！ —

旧濁澄橋



見どころ

川の合流部分が美しい！

課題

知らない魅力に気づけないかも

綿が滝



見どころ

迫力のある水の流れ！

課題

水の事故の危険性（整備が進んでいる）

鳥越城跡



見どころ

手取川と大日川の流れを一望！

課題

駐車場が狭い／足場の危険

七ヶ用水



見どころ

扇状地の人々の生活を潤す

課題

劣化の問題が…

舟岡山



見どころ

歴史遺産がたくさん残っている

課題

観光客が足を運びにくい

鶴来の街なみ



見どころ

古くからの建造物が残る！

課題

空き家問題（リノベーションも進む）

3. 魅力発信のために — 若者世代の当事者意識の醸成を！ —

鶴来高校の取り組み



手取川歩行

手取川中流域23kmを全校生徒で歩いて、地形や自然を体感する本校の伝統行事。



舟岡山整備事業

数多くの歴史遺産が残る舟岡山の整備に本校が乗り出した。清掃活動やフォトオリエンテーリングを地域住民や小中学生と一緒にやった。

鶴高生が地域に愛着を持つ活動に取り組んでいる！

提案

- ① ジオツーリズムの充実(体験ツアーなど)
- ② SNSによる魅力発信(風景&音を発信)
- ③ 掲示の充実(歴史・文化・地形等のパネルなど)
- ④ 若者世代への魅力発信

(小中学校への高校生による出前授業など)



4. まとめ

本発表の学習を通して、「**若者がジオパークの魅力や価値、保全の必要性を主体的に発信すること**」の大切さを確認することができた。なかでも本校はジオパークの中という恵まれた立地を生かしていく活動をより広げることができると考える。

ジオパークの美しい景観や育まれてきた文化は一朝一夕のものではなく、長い年月をかけて地球と人々が繋いできたものである。この襷を次世代に繋いでいくことは、ジオパークで学ぶ私たちの使命であると思う。

今後もジオパークに関する学習を様々な活動を通じて行なっていき、本校が中心となって地域の若者世代にジオパークへの誇りと愛着を持つことができるような活動を様々な場所で行うことができるように取り組んでいきたい。